

公衆衛生看護管理論演習	4 年・後期	1 単位 30 時間	教授 島田 昇 他
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33330974

1. 授業のねらい・概要

学生は、地域看護行政における運営管理能力や、保健福祉計画の策定、予算化、実施・評価のプロセス、健康危機時の管理能力、ケアシステムづくりを学び、その流れにおける保健師の役割を理解する。公衆衛生看護活動における管理的機能と保健師の役割を考察することができる。

2. 学修の到達目標

1. 地域診断の実際を通して、健康課題の解決に向けた事業計画および評価計画を立案することができる。(D-2)
2. 学校保健の場における保健師の役割と活動方法を説明することができる。(D-2)
3. 産業保健の場における保健師の役割と活動方法を説明することができる。(D-2)
4. 保健福祉事業計画の策定と予算化のしくみ、および実施・評価について説明することができる。(D-3)
5. 公衆衛生看護活動における管理的機能と保健師の役割を説明することができる。(D-3)
6. 各活動場所における多職種連携および保健師の課題を考察することができる。(D-5)

3. 授業の進め方

公衆衛生看護学実習Ⅰおよび公衆衛生看護学実習Ⅱで学んだことに基づいて、それぞれの場（行政、学校、産業）における保健師活動についてグループワークを通じて授業を進める。公衆衛生看護活動における管理的機能と保健師の役割を考察することができるように進める。

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	疫学・保健統計・その他	講義	予習：年齢調整死亡率の直接法と間接法の計算方法について調べておくこと。 復習：講義で計算された模擬問題について教科書を使ってまとめておくこと。	島田 昇
2	保健福祉事業計画の実施・評価	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「地方自治体における計画策定・施策化」p143～151 を読んでおくこと。 復習：講義内容の保健事業の評価方法について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
3	保健福祉事業計画の策定と予算化	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「予算管理」p513～514 を読んでおくこと。 復習：講義内容の予算獲得と管理・評価について教科書を使ってまとめておくこと。	島田
4	産業保健の実際①：演習・発表	演習	予習：産業保健実習での事業所の概要・健康課題についてパワーポイントで発表資料を作成しておくこと。 復習：自分以外の発表内容についてまとめておくこと。	島田 藤守 朋美
5	産業保健の実際②：演習・発表	演習	予習：産業保健実習での事業所の概要・健康課題についてパワーポイントで発表資料を作成しておくこと。 復習：自分以外の発表内容についてまとめておくこと。	島田 藤守
6	学校保健の実際①：演習・発表	演習	予習：学校保健実習での小中学校の概要・児童期・思春期の健康課題についてパワーポイントで発表資料を作成しておくこと。 復習：自分以外の発表内容についてまとめておくこと。	島田 藤守

7	学校保健の実践②：演習・発表	演習	予習：学校保健実習での小中学校の概要・児童期・思春期の健康課題についてパワーポイントで発表資料を作成しておくこと。 復習：自分以外の発表内容についてまとめること。	島田 藤守
8	保健所における難病対策	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「難病保健活動」p310～327 を読んでおくこと。 復習：講義内容の難病法および指定難病，難病対策における保健師の役割についてまとめること。	島田
9	保健所における地域包括ケア	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「地域ケアシステム」p157～164 を読んでおくこと。 復習：講義内容の地域ケアシステムの発展過程（各段階）における保健師の役割について教科書を使ってまとめること。	島田
10	保健所における感染症対策	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「感染症保健活動」p369～410 を読んでおくこと。 復習：講義内容の感染症法における1類～4類の特徴，予防接種法における定期予防接種，結核対策（地域DOTS）について教科書を使ってまとめること。	島田
11	保健所における健康危機管理	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「災害保健活動」p431～450 を読んでおくこと。 復習：講義内容のフェーズ別における保健師の活動について教科書を使ってまとめること。	島田
12	予算編成の実践と・執行管理と評価①	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「公衆衛生看護管理」p509～519 を読んでおくこと。 復習：講義内容の公衆衛生看護管理の対象について教科書を使ってまとめること。	島田
13	予算編成の実践と・執行管理と評価②	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「公衆衛生看護管理」p509～519 を読んでおくこと。 復習：講義内容の予算の執行管理，現任教育について教科書を使ってまとめること。	島田
14	母子保健活動	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「母子保健活動」p234～259 を読んでおくこと。 復習：講義内容の母子保健計画（子育て世代包括支援センターの役割と産前・産後ケア事業）について教科書を使ってまとめること。	島田
15	成人保健活動	講義	予習：公衆衛生看護学 jp「成人保健活動」p260～285 を読んでおくこと。 復習：講義内容のデータヘルス計画について教科書を使ってまとめること。	島田

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）90%，演習内容の完成度10%。合格基準は60%以上とする。合格基準に満たない（60%未満）場合は、単位認定できない。

定期試験の出題範囲及び出題方法等は、講義内にて口頭で説明する。

演習課題について、詳細および演習方法、提出期限、提出方法（場所）は第1回講義内で紙面にて提示する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：公衆衛生看護学関連，産業保健，学校保健の授業で使用したテキスト

参考文献：国民衛生の動向 最新版

群馬県の健康・保健・福祉に関する統計資料等

市町村の公式ホームページ

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

シラバスの授業計画の範囲内について，キスト内容の熟読し，予習（60分）程度を行うこと。
受講後は講義内容をノートにまとめる復習（60分）を実施すること。

8. 受講上の留意事項

自分の住む地域や周辺の環境，旅先など周囲に関心をもつこと。また，国家の施策策定，財政，予算などの広い知識が必要となります。日頃から新聞を読みニュースに触れて，政治・経済について関心を高めること。また，図書館を積極的に利用し文献や専門雑誌に目を通す習慣をつけること。
遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。
講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。
提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

保健師教育課程必修科目であり，修得できない場合保健師国家試験受験資格が不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び，医療機関での保健師としての勤務経験を活かして，講義・演習を行う。